

## 核兵器廃絶,恒久平和への思いを茨城・つくばから

人類はこんにち、「各国人民の連帯」の必要性をかつてないほどに深く認識しはじめている。地球温暖化による生態系のノーマルな連鎖の崩壊、地震・サイクロンなどによる大災害の頻発、マネー投機による食料価格・オイルの異常な高騰から世界的規模での飢餓状況および生活困苦の進行、イラク戦争に象徴される武力衝突（暴力）の連鎖などの諸事態は、国家（政府）間の「連携」（外交取引）を超えて人民の連帯・連携活動によって解決・克服していかなければならない様相を示している。実際に痛みを知る人民こそが国境の彼方に思いを馳せ、自国の政府を突き動かしてきている。

戦争・武力（とくに核兵器）保持ほど国家（政府）の不可侵な聖域はない。これにどう立ち向かうかが民主政治（国民主権）の最大の課題である。

1928 年 8 月 27 日パリで「不戦条約」が署名されて今年で 80 年になる。前文に、「人民間ニ現存スル平和及ヒ友好ノ関係ヲ永久ナラシメンガ為、国家ノ政策ノ手段トシテノ戦争ヲ率直ニ放棄スベキ時期ノ到来セルコトヲ確信」したと記している。だが、国家の連名に留まった国際連盟は不戦条約を達成できなかった。人民の連帯も補えなかった。

しかし、第二次世界大戦後 60 年を経て 21 世紀の現在、顕著な前進もみられる。

今年 5 月に「9 条世界会議」が日本で開催された。海外から 31 の国と地域から 150 人以上が参加し、参加者は延べ 3 万人余に達した。戦争放棄・武力放棄の主張が国際社会において現実味をもち市民権を獲得しはじめている。もちろん、このような発展は、この国における憲法擁護の運動、とくに「九条の会」の全国的なひろがりや奮闘が一因としてあげられる。さらに、この展開は、4 月 17 日名古屋高裁のイラク派兵違憲判決、また、全国 6 地裁すべてにおける被爆者たちの原爆症認定訴訟の勝訴、昨年(2007 年)7 月参議院選挙で改憲安倍内閣の倒壊などに直接間接のインパクトとなっていることは明らかである。

また、アイルランドのダブリン軍縮国際会議で、米国、ロシア、中国、イスラエルの反対を押し切って、クラスター爆弾の禁止条約案が採択されたことも特筆に値する。賛成 111 カ国の NGO のねばりづよい運動がもたらした大成果である。

名古屋高裁のイラク派兵違憲判決は、自衛隊の恒久派兵法に対する規制効果もあり、また、この国における今後の戦争政策・武力行使方針・核兵器保持策を阻止していくうえで重要な確信をあたえる内容を示めている。すなわち、この判決は、平和的生存権について、基本的人権が平和なしには存立し得ないことから、「すべての基本的人権の基礎にあってその享有を可能ならしめる基底的权利」であり、単に精神や理念を表明したに留まるものではない、と明言したのである。

日本国憲法前文にいう「全世界の国民」の「恐怖と欠乏」から解放されるための前提的な論点である平和的生存権を共有していくことが、核兵器廃絶、恒久平和の思いを考える今回の集会においても基本的な課題ではないであろうか。

2008 年 6 月

原水爆禁止 2008 年世界大会・科学者集会  
実行委員長 田村武夫

原水爆禁止 2008 年世界大会・科学者集会

## 核兵器廃絶，恒久平和への思いを茨城・つくばから

日 時：2008 年 8 月 1 日（金）10 時～16 時

場 所：つくば文化会館アルスホール

### プ ロ グ ラ ム

- 9:30 開 場
- 10:00 - 開会挨拶 実行委員長 田村 武夫（茨城大学名誉教授）
- 10:30 - 11:30  
基調報告  
核兵器をめぐる危機とチャンス - 核兵器と戦争のない世界に向けて -  
木村 朗（鹿児島大学・平和学）
- 11:30 - 12:20  
《 海外代表による特別報告 》
- 12:20 - 13:20 昼食・休憩
- 13:20 - 13:40  
報 告 被爆実態に即した原爆症認定基準へ  
沢田 昭二（元名古屋大学）
- 13:40 - 14:00  
報 告 原子力空母母港化問題とアメリカの世界戦略  
今野 宏（元横浜国立大学）
- 14:00 - 14:20  
報 告 研究室から「日米同盟」が見える・聞 こえる  
- 沖縄の軍事基地再編と私たちの取り組み -  
亀山 統一（日本科学者会議沖縄支部）
- 休憩（10 分）
- 14:30 - 14:50  
報 告 軍事が歪める原子力研究開発の現場 日本科学者会議原研分会
- 14:50 - 15:10  
報 告 筑波研究学園都市での平和活動  
岡田 安正（筑波研究学園都市研究所・大学関係九条の会）
- 15:10 - 15:30  
報 告 茨城における日米共同訓練の強化  
水野 秧一郎（阿見平和の会、茨城県平和委員会）
- 15:30 - 15:55  
総 合 討 論
- 15:55 閉会挨拶 実行委員会事務局長 池長 裕史（学研労協議長，農研機構中央農研）
- 16:00 閉会

### 集会のすすめ方

- ・プログラムにあるようにすべて全体会で行います。
- ・会場から可能な限り多くの方が討論に参加するようお願いいたします。会場からの発言を希望する方は予め添付の参加申込書に必要事項を記入して実行委員会宛にお申し込み下さい。なお、発言時間はひとり3分以内（時間厳守）です。

### 参加申し込み等

- ・参加する方は、下記参加申込書に必要事項を記入し、実行委員会宛お申し込み下さい。当日の参加受付も行いますが、集会の運営を円滑にするため、事前の申し込みにご協力下さい。
- ・宿泊の必要な場合は各自でご手配下さい。

### 参加費

参加費は一般1000 円、院生・学生500 円です。会場受付にて納入して下さい。賛同・支持募金をお願いします。

一口2000 円（可能なら複数口ご協力いただけると幸いです）。

募金者の氏名・専門を公表したいと存じますので、「科学者集会募金」と公表の可否を通信欄に明記の上、ご送金下さい。

郵便振替口座 00180 - 8 - 86906 口座名:日本科学者会議

原水爆禁止2008年世界大会・科学者集会実行委員会連絡先

・〒113-0034 東京都文京区湯島1 - 9 - 15 茶州ビル9F

日本科学者会議気付 TEL 03-3812-1472 FAX 03-3813-2363

<http://www.jsa.gr.jp/> E-mail:mail@jsa.gr.jp

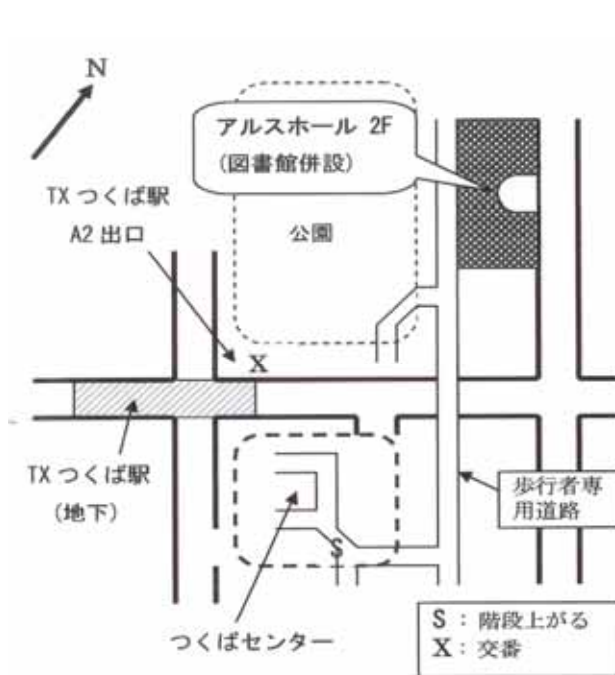
原水爆禁止 2008 年世界大会・科学者集会 参加申込書	
氏名:	勤務先等:
連絡先:〒	
E-mail アドレス:	
会場から発言を希望される方は、発言テーマ等をご記入下さい。	

(この部分をコピーまたは切り取って郵送またはファックス送信してください)

## 会場案内：つくば文化会館アルスホール

〒305-0031 つくば市吾妻 2-8

TEL:029-856-4311, FAX:029-856-6277



アクセス：「つくばエクスプレス(TX)・つくば駅」またはバスターミナル「つくばセンター」から徒歩約3分，駐車場：近隣の有料駐車場をご利用ください。

TXつくば駅までのアクセス

TX秋葉原駅 - 快速約45分 / 区間快速約52分 - つくば駅

つくばセンターまでのアクセス

JR常磐線ひたち野うしく駅からバスまたはタクシー

ひたち野うしく駅東口 - 関東鉄道バス・JRバス関東(筑波大学中央行き・つくばセンター行き)約30分 - つくばセンター

JR東京駅高速バス

東京駅八重洲南口2番バス乗場から - 高速バスつくば号約65分 - つくばセンター

## 原水爆禁止 2008 年世界大会・科学者集会実行委員会

実行委員長：田村武夫（茨城大学名誉教授・憲法学）

事務局 長：池長裕史（学研労協議長，農研機構中央農研・応用昆虫学，鳥類学）

事務局次長：野口邦和（日本大学・放射線防護学）

委員：岡田安正（平和と民主主義に根ざした研究を考える会，元産総研・応用物理学）

茅野徳治（筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会）

野津祐三（JSA 茨城支部・生化学）

原田 泰（学研労協事務局 長，産総研・分析化学）

松井安俊（元産総研・環境科学）

協 同：筑波研究学園都市研究機関労働組合協議会（学研労協）

日本科学者会議（JSA）・同茨城支部

平和と民主主義に根ざした研究を考える会

筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会